

1 沿革

本校は昭和22年5月1日創立。その間、12,424名（令和4年度まで）の卒業生を送り出しています。本町は、漁業、果樹栽培、観光、商業関係等の産業で、管内的にも活気を呈している町です。中でも、観光資源の中心としてニッカウキスキー工場があり、また旧下ヨイチ運上家・福原漁場・フゴッペ洞窟などの国指定の重要文化財もあり、観光地として有名です。また、平成12年1月、本校卒業生の毛利衛宇宙飛行士が、2度目の宇宙旅行を経験しました。

本校の校区は、黒川地区（黒川小学校校下）及び登町地区（登小学校校下）となっており、最も遠い家庭で約6kmとなっています。校舎は、昭和57年4月に余市町民の願いを込めて、近代的建築で鉄筋コンクリート4階建ての堂々たる建築物として完成しました。平成9年には開校50周年を迎え、記念行事や施設設備の充実、植樹など盛大に行うことができました。

令和4年4月には、経済状況や社会構造の大きな変化、コロナ禍といった激動の時代に求められる個人の資質として「自律」「尊重」「創造」を学校教育目標として27年ぶりに改訂、また新たに校訓として「進取」「利他」を設定しました。

2 校章



3 校訓・学校教育目標

◎校 訓 「進取」「利他」

◎学校教育目標

自 律

…自ら考え、判断し、行動する力

尊 重

…多様性を受け入れ、対話して解決する力

創 造

…豊かな発想で 新たな価値を生み出す力

（令和4年4月制定）

4 生徒数

1年	59名	2年	49名	3年	60名	計	168名
----	-----	----	-----	----	-----	---	------

5 校歌

余市町立東中学校校歌

作詞 朝谷 耿三
作曲 佐藤 璋夫

一、
朝が来た 辛苦に堪えた 祖父たちの
拓いた歴史うけついで 強く正しく 若人が
もゆる血潮に 頬を染め 黎明の空に 高々と
文化の旗を 掲げよう その庭東 余市中学

二、
いざ行こう 白銀の丘 その果てに
理想の峰は 続くとも 集う若人 眉をあげ
生命燃やして究むもの 自由の鐘の鳴る彼方
地図を描こう 新しい その庭東 余市中学

三、
胸おどる 吹雪く嵐も 太陽も
明日の希望の糧として 若木は土に 根を深く
花と咲き出しすこやかに やがて香ぐわし実を結ぶ
天にも伸びる 樹となろう その庭東 余市中学

（昭和二十六年一〇月一日制定）

